

National Museum of Art, Collection Dialogue
Matsukata Kojiro x Yamamura Tokutaro
 Bringing Rodin to Japan, Taking Gutai to the World

October 10 - December 27, 2026

Closed on Mondays *Open on October 12 and November 23, closed on October 13 and November 24 Opening Hours 10:00-18:00 (Last admission 30 minutes before closing)



国立美術館コレクション・ダイアローグ
松方幸次郎 × **山村徳太郎**
蒐集のパツシヨ
 —ロダンを日本へ、
 具体を世界へ—

2026年

10月10日「土」—12月27日「日」

休館日 月曜日（ただし10月12日（月・祝）、11月23日（月・祝）は開館、10月13日（火）、11月24日（火）は休館
 開館時間 10時—18時（入場は17時30分まで）

観覧料（税込）一般1800円（1600円）、大学生1200円（1000円）、
 70歳以上900円（800円）、高校生以下無料

障害者手帳等をお持ちの方「一般」450円（400円）、「大学生」300円（250円）

●（C）内は先取り観覧大学生のみお申し込み可、前売券販売期間7月31日金10時から10月9日金まで
 ●一般以外の料金と利用される方は前売券を当日に購入ください
 ●障害者手帳等をお持ちの方1名につき、介助者1名無料
 ●コレクションは別途観覧料が必要です（本展とあわせて観覧される場合は割引があります）

●団体は20名以上、団体観覧を希望の場合は1か月前までにご連絡ください
 ※チケット販売場所などの詳細は決定次第、美術館のウェブサイトでお知らせします

兵庫県の
兵庫県立美術館
 HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒651-0073 神戸市中央区臨海副都心1-1-1 [HAT神戸内] TEL: 078-262-1011 (代) X f o
 1-1-1 Wakinohama Kaigan-dori, Chuo-ku, Kobe City 651-0073
 HP: <https://www.artm.pref.hyogo.jp/>

上/白髪一雄《天馬島赤髪集》1959年 油彩・カンヴァス 兵庫県立美術館(山村コレクション)
 右/オーギュスト・ロダン《考える人》1881-82年 ブロンズ 国立西洋美術館(松方コレクション) 撮影: 山上智樹

主催=兵庫県立美術館、国立西洋美術館、国立アートリサーチセンター、神戸新聞社
 特別協賛=川崎重工業株式会社、日本山村硝子株式会社
 協賛=公益財団法人伊藤文化財団、株式会社アトリエ安藤忠雄
 特別協力=公益財団法人日本教育公費員弘済会 兵庫支部
 後援=NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西

Organized by Hyogo Prefectural Museum of Art; The National Museum of Western Art; National Center for Art Research; The Kobe Shimbun
 With the special sponsorship of Kawasaki Heavy Industries, Ltd.; Nihon Yamamura Glass Co., Ltd.
 With the sponsorship of Its Cultural Foundation; Atelier Tadao Ando
 With special cooperation of Japan Educational Mutual Aid Association of Welfare Foundation, Hyogo Branch
 With support of NHK Kobe Broadcasting Station; SUN TELEVISION CO., LTD.; RADIO KANSAI, Ltd.

[関連イベント]

記念シンポジウム「美術館における彫刻の活用と管理(仮題)」

日時：11月1日(日)13:00—17:40(予定)

記念講演会「松方コレクションとロダン彫刻(仮題)」

講師：陳岡めぐみ(国立西洋美術館 学芸課長)

日時：11月23日(月・祝)14:00—15:30(開場13:30—)

※両イベントとも先着順、要本展観覧券、芸術の館友の会優先枠あり

※両イベントとも会場はKOBELCOミュージアムホール(定員150名)

ミュージアム・ボランティアによる解説会

日時：会期中毎週日曜日 11:00—11:15

会場：レクチャールーム 定員：80名 ※先着順

※詳細及びその他のイベントの予定は、決定次第、美術館ウェブサイトでお知らせします

[同時期開催の展覧会]

◆2026コレクション展Ⅱ

前衛って何だ？！

小企画 美術の中のかたち一手で見る造形 青木野枝(仮題)

10月20日(火)—2027年2月23日(火・祝)

特集 王一亭とその時代(仮題)

12月17日(木)—2027年2月23日(火・祝)

◆チャンネル17 黒川 岳(仮題)

11月28日(土)—2027年1月31日(日)

◆Ando Gallery

当館2F(入場無料)

[横尾忠則現代美術館で同時開催の展覧会]

◆Curators in Panic 2 ～ 横尾忠則展 学芸員危機2髪？

9月19日(土)— 12月27日(日)

観覧料(税込) Admission (tax included)	当日	団体	前売
一般 Adults	1,800円	1,600円	1,600円
大学生 College students	1,200円	1,000円	1,000円
高校生以下*	無料	—	—
70歳以上 Over 70 years old	900円	800円	—
障害者手帳等をお持ちの方(一般)**	450円	400円	—
障害者手帳等をお持ちの方(大学生)**	300円	250円	—

*Visitors who are under high school students will be admitted for free.

**Disabled people with ID booklets will have discount.

●前売券販売期間：7月31日(金)10:00から10月9日(金)まで ●一般以外の料金でご利用される方は証明書を観覧当日ご提示ください ●障害者手帳等をお持ちの方1名につき、介助者1名無料 ●コレクション展は別途観覧料が必要です(本展とあわせて観覧される場合は割引があります) ●団体は20名以上団体鑑賞をご希望の場合は1か月前までにご連絡ください

※チケット販売場所等の詳細は決定次第、美術館ウェブサイトでお知らせします



兵庫県立美術館

HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART



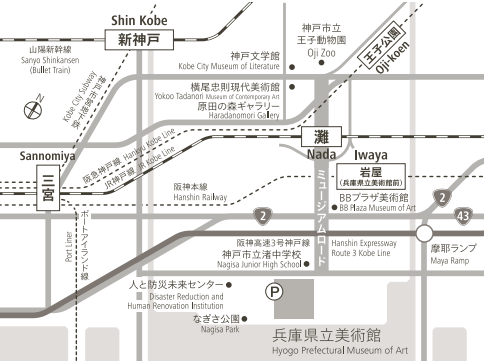
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]

1-1-1 Wakinhoma Kaigan-dori, Chuo-ku, Kobe City 651-0073

TEL: 078-262-1011 (代)

HP: <https://www.artm.pref.hyogo.jp/>





[交通案内] ●阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分 ●JR灘駅南口から南に徒歩約10分 ●阪急王子公園駅西口から南西に徒歩約20分 ●JR三ノ宮駅から神戸市バス(29・101系統)にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ ●地下駐車場(乗用車80台収容・有料)

※こ来館はなるべく電車・バスをご利用ください。

※団体バスでお越しの場合はバス待機所のご予約をお願いします。



いまから約100年前、当時、川崎造船所の社長だった松方幸次郎(1866—1950)はヨーロッパで西洋美術の一大コレクションを形成しました。「共楽美術館」という美術館を建設して、日本に西洋美術を普及するという志を立てて。そして、兵庫県西宮市に生まれた山村徳太郎(1926—1986)は、山村硝子株式会社を経営する傍ら、関西を拠点に1950年代半ばから美術作品の蒐集を開始。公共の財産になることを見すえながら、約30年をかけて戦後日本を対象とした国内有数の前衛美術コレクションを築いたのです。彼らの願いは、現在それぞれのコレクションを収める国立西洋美術館と兵庫県立美術館に受け継がれています。

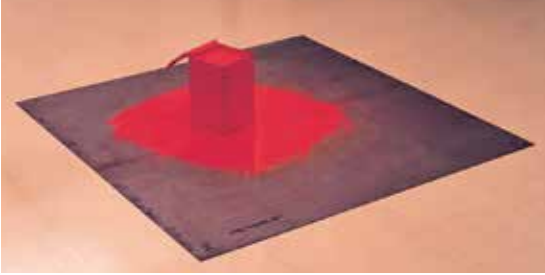
松方の生誕160年と山村の生誕100年を記念した本展は、国立美術館連携事業「コレクション・ダイアローグ」の一環として、鑑賞機会の充実とコレクションの活用促進を図るため実現しました。松方コレクションからはロダンの彫刻など近代美術を、山村コレクションからは具体美術協会を中心とした戦後前衛美術を出品します。兵庫ゆかりの二人のコレクターが築いたコレクションの「ダイアローグ」対話、ひいては二つの美術館のダイアローグを通じて、先人がコレクションに託した夢とそのつづきを辿ります。

国立美術館 コレクション・ダイアローグ

松方幸次郎 × 山村徳太郎 蒐集のパッション

ロダンを日本へ、具体を世界へ

National Museum of Art, Collection Dialogue Matsukata Kojiro x Yamamura Tokutaro Bringing Rodin to Japan, Taking Gutai to the World



- 1 クロード・モネ 《陽を浴びるボプラ並木》1891年 国立西洋美術館(松方コレクション)
- 2 フランク・ブラングリン 《松方幸次郎の肖像》1916年 国立西洋美術館(松方幸次郎氏ご遺族より寄贈)
- 3 オーギュスト・ロダン 《青銅時代》1877年 国立西洋美術館(松方コレクション) 撮影：©上野則宏
- 4 高松次郎 《題名》1971-83年 兵庫県立美術館(山村コレクション) ©The Estate of Jiro Takamatsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates, Tokyo, Pace Gallery, New York
- 5 津高一 《母子像》1951年 兵庫県立美術館(山村コレクション)
- 6 田中敦子 《作品》1958年 兵庫県立美術館(山村コレクション) ©Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association